

## 平成24年度事業計画書

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

(社) 横浜市工業会連合会

中小製造業は、我が国の経済・雇用をけん引してきた自動車、家電等の輸出産業を技術で支えてきました。しかし、バブル経済崩壊後、失われた20年と言われる長期の景気低迷、リーマンショック後の円の独歩高、昨年の中東大震災によるサプライチェーンの崩壊、原発事故によるエネルギー供給問題と次々出現した課題が解決されず、大手メーカーが海外生産比率を高める中で、大半の中小製造業の経営は厳しさを乗り越え、極限状況にあるのが現状です。

こうした技術立国として発展してきた我が国の根底を揺るがす重大な局面に直面し、市工連として市内中小企業の存続・発展に寄与できるのか、そのためにどのような活動をすべきなのかを問われている認識を強く持ち事業に取り組んでいかなければならないと考えております。

このためこれまで地域工業会会員企業の声を反映した活動のできる市工連基盤の整備に向け、委員会を中心とした事業実施、青年経営者会の明確な位置づけ等々を行い、皆様の積極的な参加を得て少しずつ活発な議論ができる環境が整いつつあると実感しております。

今年度も引き続き、各委員会で議論し検討した結果に基づき事業を進めてまいります。平成24年度は特に、厳しい経営環境を背景に企業が孤立する状況下にあつて、会員企業との意思疎通を重要な視点におき、きめ細かな情報伝達の構築、日々の交流のもとになるセミナー開催や他都市団体との交流の復活、企業連携による製品開発及びネット販売等々の事業検討に加え、中小企業支援策等の政策立案を横浜市と共に進めるほか、時宜に応じた政府、関係機関への政策要望も行っていきます。

また、これらと合わせ公益法人資格取得や既存事業につきましても着実に進め、地域工業会や関係機関団体との緊密な連携を図り、工業団体としての力を結集し、中小企業の振興による地域経済の活性化、雇用の確保と安定化に努め、地域社会の健全な発展に寄与するよう進めてまいります。

### I ものづくり活性化事業

#### 1 重点事業；ものづくり基盤整備事業

地域工業会との密接な連携をもとに、工業団体としての力を結集して中小企業の振興を図るため、各委員会で分野別にテーマを設定し、専門的検討を行った上で事業を推進するとともに、地域工業会会員が危機意識を共有し、活動に参加できる環境の整備に努めます。

##### (1) 各委員会での主な検討テーマ

###### ① 総務委員会

ア. 公益法人化

イ. 市工連の運営

- ② 政策委員会
  - ア. 横浜市との中小企業支援施策の立案検討会の設置
  - イ. 地域工業会要望の検討・作成
  - ウ. 時宜に応じた政策要望への対応
- ③ 事業企画委員会
  - ア. 会員企業の製品斡旋及び購入ニーズへの対応
  - イ. 商店街街路灯等設備整備の受注事業の取り組み継続  
(参加業種；LED製造、設備、ステンレス加工、土木、音響等)
  - ウ. 通信販売事業者との連携により、中小企業の技術連携による新製品づくり、新事業分野の開拓を行います。
  - エ. 会員企業の交流活発化
    - ・ 他都市工業団体との交流及び共同事業の開催
    - ・ セミナー研修の開催及び他団体との連携
  - オ. 商工会議所との連携による経営相談
- ④ 広報産学委員会
  - ア. 企業への情報ネットワークの構築
  - イ. 広報紙、ホームページ、メルマガ及び受発注ネットワークの改善検討
- ⑤ 雇用環境委員会
  - ア. 中小企業への人財供給と人材育成
  - イ. 中小企業の環境問題及び省エネ対策の取り組み支援

## 2 ものづくりネットワーク形成促進事業 {既存事業 (2~5)}

企業の受発注情報の整備・充実を図り、ビジネスチャンスにつなげる。

また、企業情報を有効に活用し、市内中小製造業者と大手・中堅企業との企業間ネットワークや他都市等との連携を図る。

### (1) 受発注相談 (横浜市補助事業)

市工連のホームページや電話等により、専門のアドバイザーによる受発注に関する相談に応じ、情報提供や発注案件の紹介を行うなど、会員企業を中心としたネットワークの拡大を促進する。

### (2) 商談会等の開催 (横浜市補助事業)

工業会会員企業の新事業展開や新製品開発、取引機会の拡大を図るため、(公財) 神奈川産業振興センター、(公財) 川崎市産業振興財団と共催し、受発注商談会を開催する。

① 受発注商談会 川崎会場

② 受発注商談会 横浜会場

### (3) 横浜ネットワークプラス (受発注情報システム) の機能強化 (横浜市補助事業)

市工連ホームページを活用し、事業内容・製造能力・技術等に関する登録会員企業のPRに加え、発注企業や研究機関等が、登録企業について、業種別・加工種別・キーワード別に検索・閲覧できるシステムの充実を図る。併せて、ネットワークプラスを活用した発注案件に対する企業紹介を行う等、受発注システムの機能強化によ

り企業のビジネスチャンスの拡大を図る。

### 3 テクニカルショウヨコハマ（横浜市負担事業）

新製品・新技術等を一堂に展示して、技術の向上とビジネスチャンスの拡大を図るため、(公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により、神奈川県内最大の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2013」を開催する。

開催日 平成25年2月6日(水)～8日(金)

会場 パシフィコ横浜 展示ホール・アネックスホール

### 4 ものづくり人材育成支援事業

研修会の開催や、情報交換・交流の場の提供などにより、工業会会員企業の経営力や技術力の向上、ビジネスチャンスの創出・拡充を図る。また、明日のものづくり産業の担い手となる人材の育成及び確保に対する各種支援を行い、ものづくりの活性化を図る。

#### (1) 新入社員合同研修（市工連自主事業）

「帆船日本丸」での甲板みがき、登檣、結索、漕艇等の訓練を取り入れた合同研修により、チャレンジ精神や協調性、連帯感などを新入社員が体験することを通して、企業の将来を託せる人材の育成を図る。

研修日程 4月12日(木)～13日(金) 1泊2日

研修会場 帆船日本丸、同訓練センター

#### (2) 就職に関する懇談会等の開催（横浜市補助事業）

工業系高等学校、総合高校等の関係者と企業の採用担当者等とを対象に、企業の採用情報や高校生等の就職状況・情報を交換する懇談会を開催する。

#### (3) 工場見学会の開催（横浜市補助事業）

学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者確保を図るため、就職指導教員と職業訓練校等を対象に、横浜市との連携のもとに市内企業の工場見学会を開催する。

### 5 情報発信事業

#### (1) インターネットを活用した情報提供

ホームページや市工連ニュース（メールマガジン）などを通して、適時・的確な経営関連情報を提供する。

#### (2) 機関誌の発行

市工連の機関誌「よこはま市工連」、各種事業の案内情報紙「市工連かわらばん」を地域工業会との連携のもとに発行する。

① 機関誌「よこはま市工連」 年2回発行

② 情報紙「市工連かわらばん」 年6回発行

## II 産業振興施設の管理運営

### 1 横浜産貿ホール マリネリアの管理・運営事業

(1) 横浜産貿ホール マリネリアの管理・運営を行い、産業と貿易に関する見本市、展示会など、関連分野の企業・団体等に開催の場を提供し、神奈川県・横浜市内の産業の発展に寄与する。

- ・ 所在地：横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1・2F
- ・ 施設：展示場（1F 1,630㎡）、小展示室（2F 70㎡）

### (2) 維持管理

横浜市の負担も受けて利用環境の維持のため必要な改修を行う。

### 2 T<sup>3</sup>（鳥浜・試作型貸スペース）事業

(1) 昨年度に引き続き、鳥浜トライ&トライアルステージの運営を実施し、新技術・新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援する。

- ・ 所在地：横浜市金沢区鳥浜町16-6
- ・ 施設内容：試作用賃貸スペース 約80㎡～約120㎡ 全5区画  
（付属事務室 約25㎡～約28㎡）（現在：2区画入居済み）

## III 会員の交流を深める事業

ボウリング大会の開催や、「横浜市工業厚生年金基金」、「災害共済」、「労災保険」、等工業会会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業の充実を図る。

また、社会的課題ともなっている環境問題、雇用問題に取り組むほか、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、引き続き市工連独自のPL保険の加入促進を図る。

### (1) 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

地域工業会の運営と横浜青年経営者会の活動を支援する。

### (2) すぐれたアイデア表彰

工業会会員企業における、技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を顕彰する。

事業企画委員会等を通して応募提案の増加を図ります。